

ミュージニッチ米国BDCファンド



2016年11月7日

日興アセットマネジメント株式会社

運用概況のお知らせ

「景況感の改善を背景に、堅調な推移が続く米国BDC市場」

平素は弊社投資信託に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

米国で、主として中堅企業への融資を行なっているBDC各社は、米国の景気回復基調を受け、融資先企業からの利子収入などをベースに引き続き堅調な業績となっています。一方、BDCの価格は、長引く原油価格の低迷や米国の政策金利の動向などを受けた投資家心理の悪化の影響を受け、2015年半ばから調整局面が続きました。このようにBDCの価格は企業業績よりも市場動向に影響を受ける傾向があります。そのため、本年2月に原油価格が26米ドル近辺（WTI先物、1バレル当たり）で底打ちの動きを見せ、投資家心理は改善に向かうなか、BDCの価格も大きく反発する結果となりました。

この度、「ミュージニッチ米国BDCファンド※」の運用概況をご報告するにあたり、BDCの価格特性や業績、バリュエーションなどをご説明する資料を作成しましたので、ご高覧ください。

※ミュージニッチ米国BDCファンド（毎月分配型）、同（年2回決算型）、同（為替ヘッジあり・毎月分配型）、同（為替ヘッジあり・年2回決算型）の総称です。

【BDC指数のパフォーマンス】



- 信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
- ウェルズ・ファーゴBDCインデックスは、当ファンドのベンチマークではなく、当ファンドのパフォーマンスを示唆するものでもありません。
- グラフは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

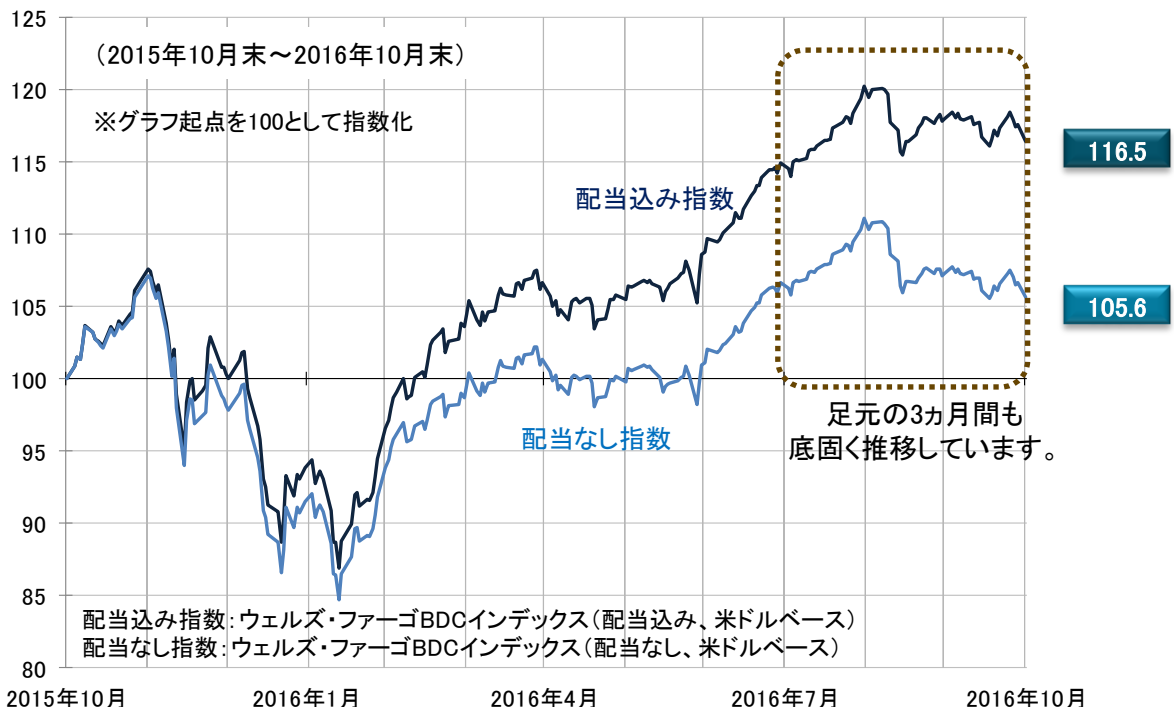
●BDC市場のパフォーマンス～配当利回りに支えられた下値抵抗力

BDCは、主として投融資先の中堅企業から利子や配当を受け取り、その大半を投資家に分配しているため、投資家から見た配当利回りは9.0%（ウェルズ・ファーゴBDCインデックススペース、2016年10月末現在）と相対的に高い水準となっています。BDCの価格は市場全体の動きを受け、企業業績を直接反映することなく上下する傾向がある一方、この配当利回りの高さが価格の下支えとなる傾向があります。BDCが支払う相対的に高い配当金は、投融資先からの安定した金利収入がベースであり、その安定感がBDC価格の下値安心感を与えているといえます。

実際にこの1年間の指数推移（下のグラフ参照）を見ると、本年2月にかけて原油価格の急落による投資家心理の悪化の影響を受けてBDCの価格は大きく下落したものの、①BDC各社の業績自体は堅調に推移していたこと、②BDC価格の下落により配当利回りが上昇、割安感から買い戻しが入ったこと、などから本年8月には早くも下落前の水準を回復しました。結果、直近1年間のパフォーマンスを見るとBDC指数（配当なし）は5.6%の上昇、配当金を含んだトータルリターンでは16.5%の上昇となりました。

また、足元の3ヵ月間の推移を見ても、9月半ばの米国利上げ観測の高まりや原油安の影響などから投資環境が不安定な中でもほぼプラスとなるなど底堅く推移しています。

【直近1年間のBDC指数の推移】



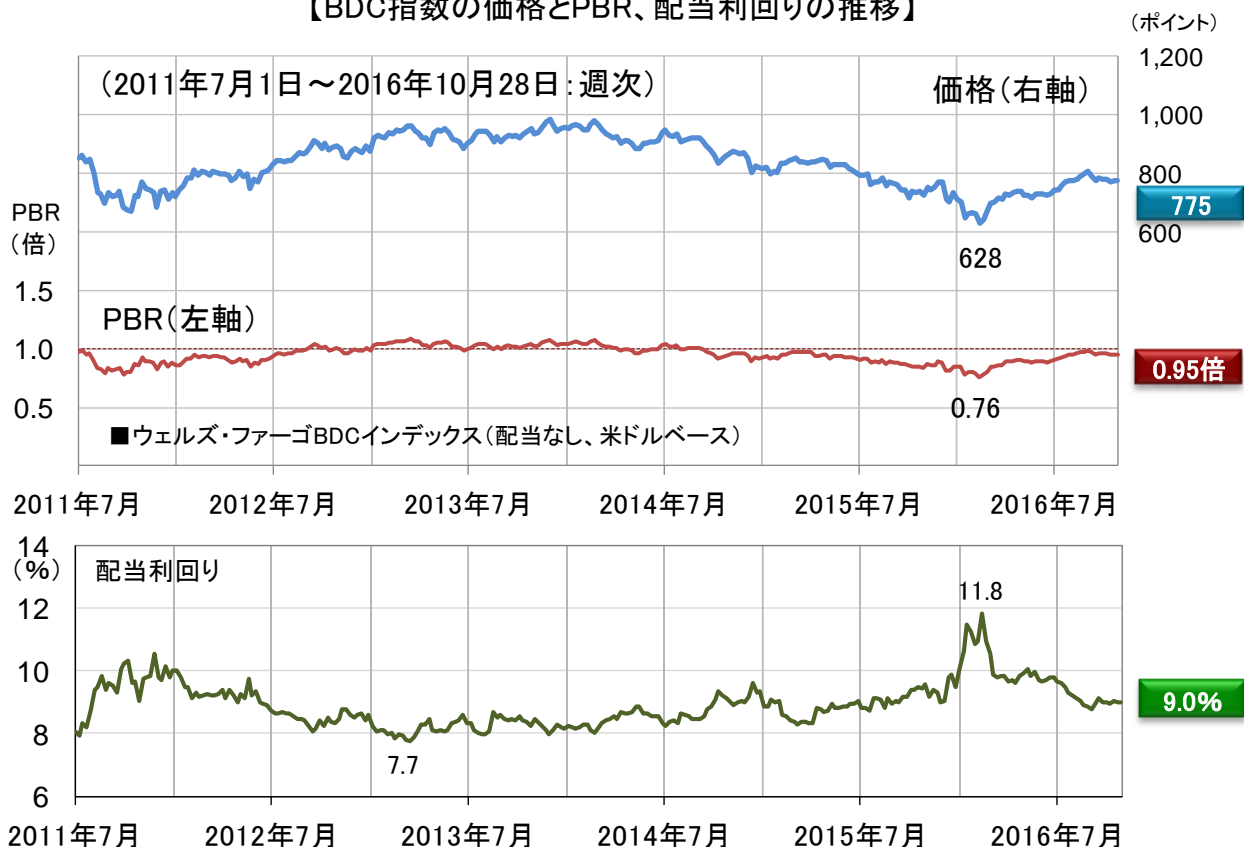
- 信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
- ウェルズ・ファーゴBDCインデックスは、当ファンドのベンチマークではなく、当ファンドのパフォーマンスを示唆するものでもありません。
- グラフは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

●BDCのバリュエーション

BDC市場が米国でその法制度を含めて整備されたのは1980年以降で、REITに比べ歴史が浅いことなどから、BDCの仕組みや価格特性、融資内容の実態などについて、投資家の理解は必ずしも十分ではないと見受けられます。BDC市場は2001年の上場第1号から始まっており、まだ15年ほどしか経過していない市場であり、現在も成長期にあるといえます。そのため、市場が大きく変動する局面では、BDC価格はファンダメンタルズを逸脱し、軟調な推移となりました。

BDCのPBR（株価純資産倍率）をみると、これまで1倍程度の水準で推移しており、BDCが資産価値を中心に取引される傾向があることが示唆されています。しかし、2015年以降、市場心理が悪化するなかでPBRが0.8倍を割り込んだ局面では、割安感が強く出ていたと言えます。なお、足元のPBRは1倍程度、配当利回りは9%程度となっており、近年の水準からみて、まだ平均的で割高感のない水準にあると考えられます。

【BDC指数の価格とPBR、配当利回りの推移】



- 信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
- ウェルズ・ファーゴBDCインデックスは、当ファンドのベンチマークではなく、当ファンドのパフォーマンスを示唆するものでもありません。
- グラフは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

●BDCの業績 ～安定した純営業収益と配当金

BDCは融資にかかわる純営業収益（純金利収入）に融資業務以外の収入や手数料を加え、運営費用を控除した利益から配当を行なっています。

大手BDCの四半期業績からは、純営業収益が比較的安定していることがうかがえます。また、配当金が概ね純営業収益の範囲であることから、無理なく安定的に配当金が支払われていることも分かります。

【エイリスキャピタル(最大手BDCの一角)の業績などの推移】

	決算期	2015年3月	2015年6月	2015年9月	2015年12月	2016年3月	2016年6月	2016年9月
受取利息・配当金	百万米ドル	223	216	222	230	224	225	216
支払利息	百万米ドル	59	56	57	55	50	45	43
純営業収益	百万米ドル	165	160	165	174	173	179	173
1株当たり純営業収益	米ドル	0.52	0.51	0.53	0.55	0.55	0.57	0.55
1株当たり配当金	米ドル	0.43	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38
1株当たり純資産	米ドル	16.71	16.80	16.79	16.46	16.50	16.62	16.57
価格(期末値)	米ドル	17.17	16.46	14.48	14.25	14.84	14.20	15.50
PBR	倍	1.03	0.98	0.86	0.87	0.90	0.85	0.94

- 純営業収益: 受取利息・配当金から支払利息を控除して算出
- PBR(Price Book value Ratio): 株価(価格)を1株当たり純資産で除して算出
- 信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
- 個別銘柄に言及していますが、当該銘柄の売買等を推奨するものではありません。また、当社ファンドにおける保有、非保有、および将来の個別銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

●BDC市場の現状 ～回復傾向を見せ始めるBDCの資金調達

米国経済の回復基調とBDC市場の改善などを背景に、一時は細っていたBDCの資金調達が足元で回復基調となっています。2015年秋以降、減少傾向にあった公募増資は、本年3月以降活発化しており、100億円を超える案件も出始めました。また、2017年1月には、最大手の一角であるエイリスキャピタルと同業大手のアメリカンキャピタルとの合併が予定されているなど、BDC市場の再編・拡大に向けた動きが着々と進行している模様です。

また、ニューヨークでは年末に大手証券会社が全米の金融機関・投資家を対象に開催するBDCに関するフォーラムの規模が年を追うごとに拡大しているなど、BDCの魅力が見直される気運は高まっていると考えられ、今後益々BDC投資が注目を集めることが期待されています。

● 基準価額の推移と基準価額騰落の要因分解
「ミュージニッチ米国BDCファンド(毎月分配型)」



【分配金実績】

設定来合計	2014年10月～ 2016年5月	2016年6月～ 2016年10月
1,350円	50円/月	70円/月

※ 要因分解は2016年9月末までのデータです。

※ 要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※ その他には計算誤差などが含まれます。

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前のそれぞれ1万口当たりの値です。

※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

【基準価額騰落の要因分解(直近1年間)】

単位:円

年月	BDC要因		為替 要因	支払済 分配金	信託報酬 その他	月間 騰落額
	インカム	キャピタル				
201510	16	459	71	-50	-16	481
201511	25	514	150	-50	-18	622
201512	165	-712	-175	-50	-15	-787
201601	16	-653	-3	-50	-14	-704
201602	20	85	-504	-50	-14	-463
201603	158	568	-68	-50	-14	594
201604	15	292	-225	-50	-14	18
201605	25	-197	86	-50	-15	-151
201606	139	89	-617	-70	-14	-473
201607	15	377	118	-70	-14	426
201608	23	407	-90	-70	-15	255
201609	120	-309	-172	-70	-14	-445
合計	739	920	-1,428	-680	-178	-627
設定来	1,761	-1,924	257	-1,280	-439	-1,624

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や、分配を行わない場合もあります。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

● 基準価額の推移と基準価額騰落の要因分解

「ミュージニッチ米国BDCファンド(年2回決算型)」



【分配金実績】

設定来合計	2014年11月	2015年5月	2015年11月	2016年5月
0円	0円	0円	0円	0円

※ 要因分解は2016年9月末までのデータです。

※ 要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※ その他には計算誤差などが含まれます。

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前のそれぞれ1万口当たりの値です。

※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

【基準価額騰落の要因分解(直近1年間)】

単位:円

年月	BDC要因		為替要因	支払済分配金	信託報酬 その他	月間騰落額
	インカム	キャピタル				
201510	17	487	76	0	-17	563
201511	27	549	160	0	-18	718
201512	178	-763	-188	0	-17	-790
201601	17	-702	-1	0	-15	-701
201602	22	93	-546	0	-16	-447
201603	173	620	-74	0	-16	703
201604	17	320	-246	0	-15	77
201605	28	-218	96	0	-18	-112
201606	155	99	-686	0	-14	-446
201607	17	424	131	0	-15	556
201608	26	462	-98	0	-18	371
201609	137	-350	-197	0	-16	-426
合計	814	1,021	-1,574	0	-195	66
設定来	1,863	-1,911	117	0	-463	-394

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や、分配を行わない場合もあります。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

● 基準価額の推移と基準価額騰落の要因分解

「ミューズニッチ米国BDCファンド(為替ヘッジあり・毎月分配型)」



【分配金実績】

設定来合計	2015年3月～ 2016年5月	2016年6月～ 2016年10月
975円	45円/月	60円/月

※ 要因分解は2016年9月末までのデータです。

※ 要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※ その他には計算誤差などが含まれます。

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前のそれぞれ1万口当たりの値です。

※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

【基準価額騰落の要因分解(直近1年間)】

単位:円

年月	BDC要因		為替 要因	支払済 分配金	信託報酬 その他	月間 騰落額
	インカム	キャピタル				
201510	15	418	0	-45	-18	369
201511	23	462	0	-45	-16	423
201512	147	-632	0	-45	-24	-554
201601	15	-577	0	-45	-19	-626
201602	19	89	0	-45	-14	49
201603	153	548	0	-45	-32	623
201604	15	287	0	-45	-9	248
201605	25	-194	0	-45	-23	-237
201606	140	91	0	-60	-39	131
201607	15	394	0	-60	-17	332
201608	24	428	0	-60	-21	371
201609	128	-330	0	-60	-33	-295
合計	717	984	0	-600	-267	834
設定来	1,395	-956	0	-915	-398	-874

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や、分配を行わない場合もあります。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

● 基準価額の推移と基準価額騰落の要因分解

「ミュージニッチ米国BDCファンド(為替ヘッジあり・年2回決算型)」



【分配金実績】

設定来合計	2015年5月	2015年11月	2016年5月
0円	0円	0円	0円

※ 要因分解は2016年9月末までのデータです。

※ 要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※ その他には計算誤差などが含まれます。

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前のそれぞれ1万口当たりの値です。

※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

【基準価額騰落の要因分解(直近1年間)】

単位:円

年月	BDC要因		為替要因	支払済分配金	信託報酬 その他	月間騰落額
	インカム	キャピタル				
201510	15	424	0	0	-22	417
201511	23	473	0	0	-18	478
201512	151	-648	0	0	-26	-523
201601	15	-593	0	0	-23	-601
201602	20	95	0	0	-12	103
201603	159	572	0	0	-30	702
201604	16	299	0	0	-35	280
201605	26	-205	0	0	-25	-203
201606	148	98	0	0	-34	212
201607	17	423	0	0	-30	409
201608	26	462	0	0	-23	464
201609	138	-354	0	0	-39	-255
合計	755	1,044	0	0	-317	1,483
設定来	1,433	-913	0	0	-475	45

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や、分配を行わない場合もあります。

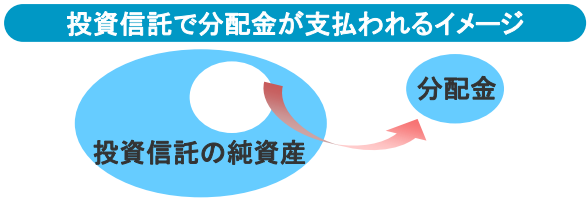
※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

● 基準価額騰落の要因分解の解説

各コースにおける基準価額の騰落の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。そうした点を踏まえ、傾向を知るための参考値としてご覧ください。

- 「BDC要因」 組入BDCなどからの配当金の受け取り（インカムゲイン）と、BDCの売買益や値動きによる評価損益（キャピタルロス/ゲイン）があります。
- 「インカム」 BDCは、主として、融資先の中堅企業が支払う金利をもとに投資家に配当金を出しています。
- ※基準価額騰落の要因分解において、投資先のBDCから定期的に配当金を受け取っていることが分かります。
- ※一般に、BDCは配当金を毎月支払うケースと3ヵ月ごとに支払うケースがあります。
- 「キャピタル」 BDCの売買益や値動きによる評価損益を計上しています。
- ※当ファンドが投資対象とするBDCは原則として市場で取引されており、BDCの価格は、BDC自体のファンダメンタルズだけでなく、市場全体の要因などによって決まるため変動することがあります。
- 「為替要因」 為替ヘッジを行わないコースは、米ドル/円の為替変動の影響を受けます。
- ※円安（米ドル高）はプラス要因、円高（米ドル安）はマイナス要因です。
- ※為替ヘッジを行なう場合には「為替ヘッジコスト」がかかりますが、当要因分解では、純粋な為替差損益を為替要因に分類しており、「為替ヘッジコスト」などはその他に分類しています。
- 「支払済分配金」 当ファンドが受益者の皆様にお支払いした分配金です。
- 「信託報酬その他」 当ファンドの信託報酬や計算誤差などの各種要因の合計額です。
- ※ 為替ヘッジを行なうコースでは為替ヘッジに係る費用が含まれます。

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

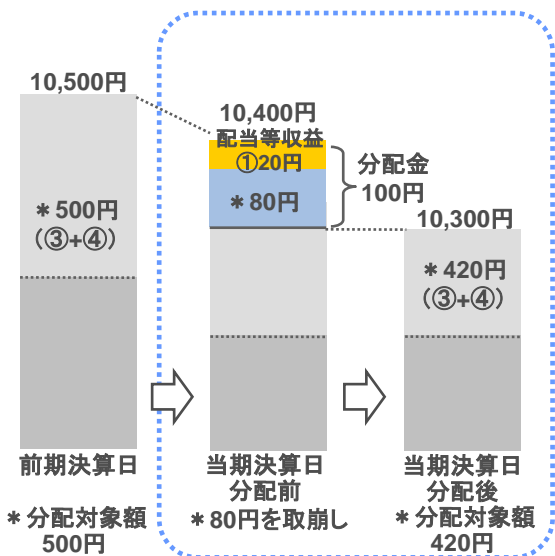
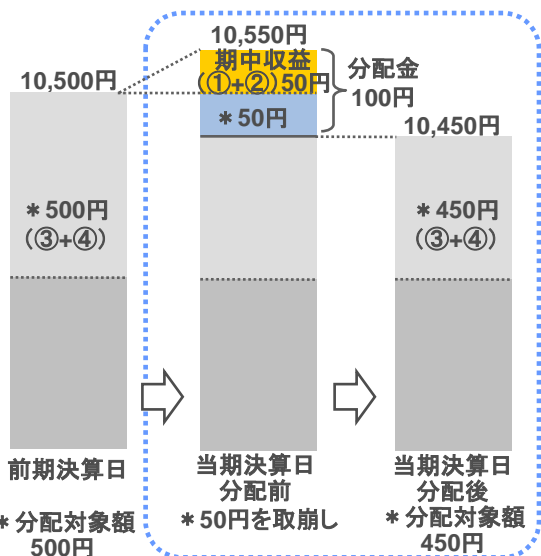


- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合

前期決算から基準価額が下落した場合

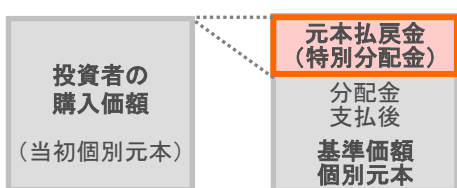
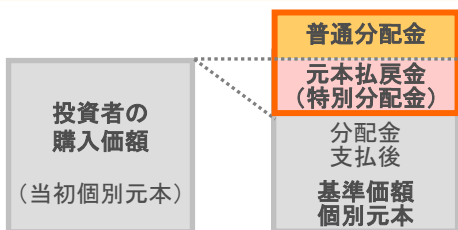


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的には元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
 元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

お申込みに際しての留意事項

『リスク情報』

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に米国の金融商品取引所に上場されているBDC(ビジネス・ディベロップメント・カンパニー)および株式を実質的な投資対象としますので、BDCおよび株式の価格の下落や、BDCおよび株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【BDCへの投資に伴うリスク】
【有価証券の貸付などにおけるリスク】【集中投資リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

『その他の留意事項』

当資料は、投資者の皆様は「ミューズニッチ米国BDCファンド(毎月分配型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・毎月分配型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込メモ

- 商品分類 追加型投信／海外／その他資産
- ご購入単位 購入単位については、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、ご購入のお申込み(スイッチングを含みます。)の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 **【毎月分配型】【年2回決算型】** 2029年5月21日まで(2014年7月2日設定)
【為替ヘッジあり・毎月分配型】【為替ヘッジあり・年2回決算型】
2029年5月21日まで(2014年11月28日設定)
- 決算日 **【毎月分配型】【為替ヘッジあり・毎月分配型】** 毎月20日(休業日の場合は翌営業日)
【年2回決算型】【為替ヘッジあり・年2回決算型】
5月、11月の各20日(休業日の場合は翌営業日)
- ご換金不可日 換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、換金請求(スイッチングを含みます。)の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い
原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、3.24%(税抜3.0%)を上限として販売会社が定める率とします。

※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

換金手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

※販売会社によっては、スイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬 純資産総額に対して年率1.998%(税抜1.85%)を乗じて得た額

その他費用 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
 日本証券業協会

投資顧問会社 ミューズニッチ・アンド・カンパニー・インク

受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社
 (再信託受託会社:日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

販売会社 販売会社については下記にお問い合わせください。
 日興アセットマネジメント株式会社
 [ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>
 [コールセンター] 0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは
 ミューズニッチ米国BDCファンド(毎月分配型)/(年2回決算型)

金融商品取引業者等の名称			加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第94号	○	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第180号	○	○		

(資料作成日現在、50音順)

ミューズニッチ米国BDCファンド(為替ヘッジあり・毎月分配型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)

金融商品取引業者等の名称			加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第94号	○	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第180号	○	○		

(資料作成日現在、50音順)